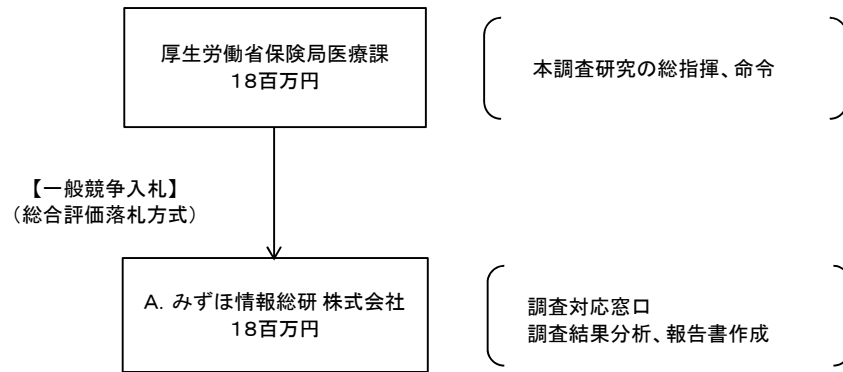


平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	診療報酬体系の見直し後評価に係る調査に必要な経費（慢性期入院医療の包括評価に関する調査研究）		担当部局庁	保険局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度		担当課室	医療課		鈴木 康裕		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅳ－２－１ 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	診療報酬調査専門組織運営要綱(平成15年7月1日)中央社会保険医療協議会了解事項		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	様々な施設における慢性期入院医療の実態等を調査し、診療報酬改定の検討に資するデータの収集・分析を目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本調査は、慢性期医療の実態を把握するために実施しており、これまでは療養病棟等において慢性期医療を受けている患者の実態・必要なコスト等を調査し、診療報酬請求のための基礎データとしてきた。現在は、療養病棟に加え一般病棟における長期入院や在宅医療等についても調査を進めている。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	55	50	42	200	41	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	55	50	42	200	41		
	執行額	47	44	18				
執行率(%)	85.5	88.0	42.9					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	当該調査は、療養病等入院基本料を算定している病院を対象としたコスト調査を行い、療養病棟入院基本料における診療報酬改定の影響を検証することを目的としており、定量的な指標を示すことはできない。		成果実績		—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	療養病棟入院基本料における診療報酬改定の影響を検証するため、療養病棟入院基本料を算定している病院を対象としたコスト調査の実施するものであり、その実績を数量的で計れない性質のため、定量的な指標を示すことはできない。		活動実績 (当初見込み)		—	—	—	—
					(—)	(—)	(—)	
単位当たりコスト	— (円/)		算出根拠	療養病棟入院基本料における診療報酬改定の影響を検証するため、療養病棟入院基本料を算定している病院を対象としたコスト調査の実施するものであり、その実績を数量的で計れない性質のため、統計調査と同様な単純単価算出は困難である。				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	人件費(調査・進捗管理)	71	31	調査内容の見直しによる				
	経費(調査票印刷・発送経費)	106	5					
	一般管理費	13	3					
	消費税	10	2					
	計	200	41					

事業所管部局による点検				
	評価	項目		評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		国民が支払う診療報酬の請求を行うために必要な事業であるため、優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		診療報酬改定を行う上での議論に資する資料であり迅速にデータの収集・分析を行う必要があることから、国で実施すべきである。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		一般競争入札(総合評価落札方式)にて業者選定を行っているためである。
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		一般競争入札(総合評価落札方式)である。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		—
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		調査の実施及び取りまとめ等、事業遂行のために必要な費目・使途に限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		医療機関に対して直接の調査を実施することにより、直接的な回答を得ることができたことから(回答施設:442施設)、実効性の高い手段となっている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		—
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		—
		※類似事業名とその所管部局・府省名		
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		報告結果は診療報酬改定に向けた検討資料等で活用されている。
点検結果	執行額については、一般競争入札(総合企画落札方式)による結果であり、特段の問題はないと判断する。			
予算監視・効率化チームの所見				
現状通り	本事業の必要性の観点からの評価は概ね妥当である。引き続き必要な予算措置に努めること。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
現状通り	—			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)				
—				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー	282-1	平成23年行政事業レビュー	252-3	

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.みずほ情報総研株式会社			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	調査・進捗管理費	9			
	運搬費等	調査票印刷費、通信運搬費、資料 費、データ入力費等	7			
	その他	一般管理費、消費税	2			
	計		18	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	みずほ情報総研株式会社	事業概要に沿った調査の実施(データ集計・分析等)	18	2	42.9
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					